

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成26年～平成30年度(5年間)									
事業実施地区名 (都道府県名)	しもきた 下北森林計画区 (青森県)	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署									
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、青森県北部（本州最北端）に位置する下北森林計画区内の国有林野 87,070haである。</p> <p>当計画区は、恐山火山群等の山岳地帯と東通地区の丘陵地帯に大別され、恐山火山群からは大畑川が津軽海峡へ、川内川が陸奥湾へ注ぐとともに東通地区の丘陵地帯から田名部川が陸奥湾へと注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の64%がブナやヒバを主とする広葉樹天然林、34%がスギ人工林となっている。</p> <p>当計画区内は恐山をはじめとして優れた景観と自然環境を有する地域であり、天然記念物のニホンザル（北限）やニホンカモシカをはじめとした貴重な動植物が生息する原生的な天然林等があり、この天然林等を維持・保全するため、「恐山山地森林生態系保護地域」を設定しているほか、「下北半島国定公園」、「青森県自然環境保全地域」等に指定されている。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・溪谷散策のほか薬研温泉や恐山等の景勝地の観光施設が整っていると同時に、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、日本三大美林に数えられる青森ヒバの産地であることから、古くから青森ヒバの生産・木材加工産業に取り組んでいるとともに、豊かな森林資源を利用して、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっており、主要河川の上流に位置する森林は用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、天然青森ヒバの評価が高く国有林においても天然青森ヒバの供給、今後収穫期が増大するスギの安定供給を通じた産業振興に寄与することが期待でき、自然のダムと炭素貯蔵の役割をしている森林を適切な森林整備を行い、これらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し、低炭素社会の構築に寄与し、木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素化社会、地元優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1, 371ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>12, 306ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>26.7km</td> </tr> </table> <p>総事業費 3, 386, 779千円</p>			森林整備	更新面積	1, 371ha		保育面積	12, 306ha	路網整備	開設延長	26.7km
森林整備	更新面積	1, 371ha										
	保育面積	12, 306ha										
路網整備	開設延長	26.7km										
費用対効果分析	総便益(B)	24, 089, 358千円										
	総費用(C)	4, 131, 540千円										
	分析結果(B/C)	5.83										
事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 必要性 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、地元特産材（青森ヒバ）や国有林内保健休養地での振興、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。 											

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

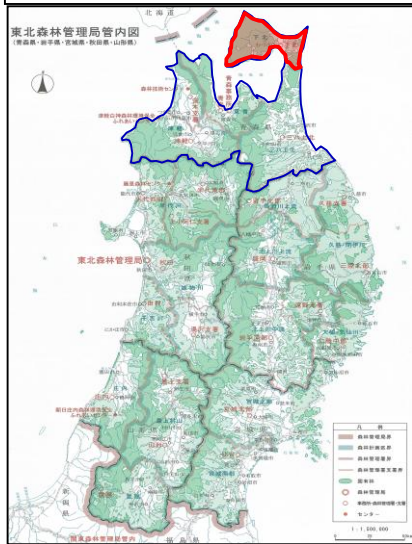
事業名：森林環境保全整備事業
施行箇所：下北森林計画区

都道府県名：青森
(単位：千円)

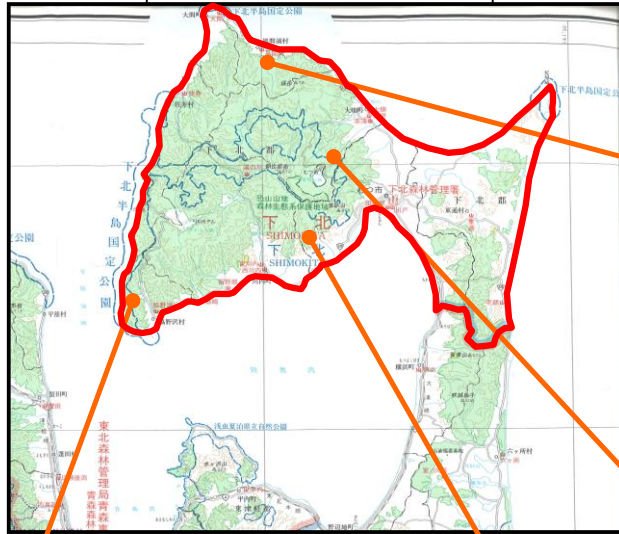
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源 ^{かん} 涵養便益	洪水防止便益	3,878,004	
	流域貯水便益	1,322,383	
	水質浄化便益	5,737,651	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,306,665	
	土砂崩壊防止便益	0	
環境保全便益	炭素固定便益	2,279,930	
	気候緩和便益	0	
	騒音軽減便益	0	
	飛砂軽減便益	0	
	風害軽減便益	0	
	大気浄化便益	0	
	霧害軽減便益	0	
	火災防備便益	0	
	漁場保全便益	0	
	生物多様性の保全便益	0	
	保健休養便益	0	
	災害防止便益	山地災害防止便益	0
なだれ災害防止便		0	
潮害軽減便益		0	
海岸侵食防止便益		0	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	112,601	
	木材利用増進便益	41,138	
	木材生産確保・増進便益	954,882	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	0	
	治山経費縮減便益	0	
	森林管理等経費縮減便益	0	
	森林整備促進便益	1,456,104	
一般交通便益	走行時間短縮便益	0	
	走行経費縮減便益	0	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益	0	
	ふれあい機会創出便益	0	
	フォレストアメニティ施設利用便益	0	
	副産物増大便益	0	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	0	
	防火帯便益	0	
	災害復旧経費縮減便益	0	
維持管理費縮減便益		0	
山村環境整備便益	生活用水確保便益	0	
	生活排水浄化便益	0	
	集落内除雪便益	0	
	土地創出便益	0	
	生活安定確保便益	0	
その他の便益	通行安全確保便益	0	
	環境保全確保便益	0	
	森林内施設管理経費縮減便益	0	
	ボランティア誘発便益	0	
総 便 益 (B)		24,089,358	
総 費 用 (C)		4,131,540	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{24,089,358}{4,131,540} = 5.83$		

森林環境保全整備事業 下北森林計画区(青森県) 事業概要図

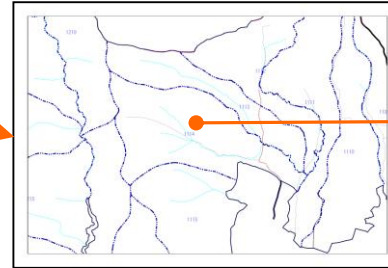
下北森林計画区位置図 (下北森林管理署)



主な森林整備位置図



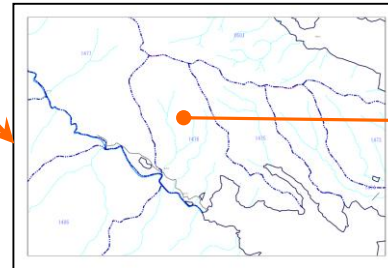
八森山国有林2062林班



森林整備状況(間伐)



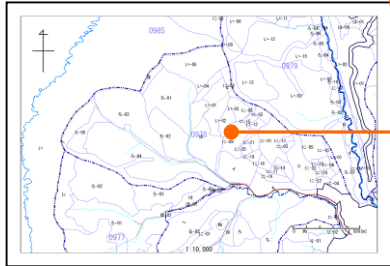
朝比奈岳国有林1038林班



森林整備状況(下刈)



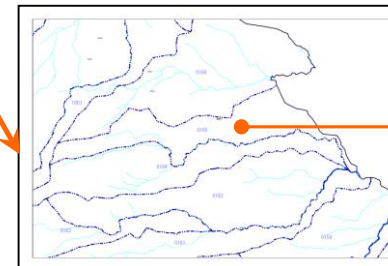
源道城国有林978林班



林業専用道整備事業



高野山国有林701林班



森林整備状況(除伐)

